

## 産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
熊本県	28	11	17	109%	7	無	6	<p>本県において本年度事業評価の対象となった17地区のうち、10地区が成果目標を達成し、残る7地区が未達成となった。その結果、県全体の平均達成率は108.5%となり、未達成地区はあったものの、当該事業の実施が産地の生産力の向上につながったと思われる。</p> <p>成果目標が未達成となった地区の要因としては、主に前年度までの台風・豪雨や冬期の高温等があげられ、その影響で品質や収量が低下したと考えられる。</p> <p>今後、未達成となった地区に対して、品質向上や収量増加に向けた改善措置の指導を行うとともに、関係機関が連携し、成果目標を達成するための取り組みを推進していく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、109%であり、目標は達成されている。</p> <p>このため、農政局から県への改善指導は行わない。</p> <p>なお、熊本県が事業実施主体への改善指導を必要とした地区（達成率90%未満）は以下の7地区である。</p> <p>&lt;参考：成果目標未達成地区の概要&gt;</p> <p><b>【野菜】5地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、アスパラガスの選別機・結束機の整備を行った1地区について、H29年7月の台風被害の影響が30年産にも及び減収したことにより、成果目標は未達成となった。</li> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、ほうれんそうの栽培管理機械のリース導入を行った1地区について、平成30年9月の台風による豪雨の影響で減収したことにより、成果目標は未達成となった。</li> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、なすの低コスト耐候性ハウスの整備を行った1地区について、単収は増加したものの出荷最盛期（4～5月）に低単価となったことにより、成果目標は未達成となった。</li> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、冬タスの栽培管理機械のリース導入を行った1地区について、病害虫（軟腐病、オオタバコガ）の発生で減収したことにより、成果目標は未達成となった。</li> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、施設きゅうりのハウス資材の導入や内部設備のリース導入を行った1地区について、取組主体5戸のうち1戸が体調不良で大幅に減収したことにより、成果目標は未達成となった。</li> </ul> <p><b>【果樹】1地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、栗の集出荷貯蔵施設を整備した1地区について、平成27年の台風15号による樹体損傷からの回復を見込んでいたものの、想定以上の損傷であったことから、今後の生産量確保のため、被害樹及び老木樹の改植等を実施した。このため、改植等実施園において、結果樹齢に達していないことによる生産量の落ち込みから、産地全体の生産量が減少したことにより、成果目標は未達成となった。</li> </ul> <p><b>【花き】1地区</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、宿根カスミソウのパイプハウス等を導入した1地区について、栽培面積の拡大による適期出荷の遅れにより、販売額が落ち込んだことから、成果目標は未達成となった。</li> </ul>